

第 6 回経済建設常任委員会 概要報告

年 月 日	令和 3 年 4 月 27 日	会場	第 1 委員会室	案件	委員会所管事項について
出席委員	山田典幸、佐久間誠、塩田昌彦、今村芳彦、三浦勝秀、富岡達彦				
委員外議員					
欠席委員					
【報告事項】					
(経済部)					
1) 新型コロナウイルス感染症対策緊急資金に関する要綱の一部改正について					
<p>コロナの影響が長期化していることから、要綱を一部改正し限度額や融資期間を見直す。</p> <p>見直し案では限度額を 1 千万円から 2 千万円に引き上げるほか、融資期間では 10 年以内据え置き 1 年であったものを、10 年以内据え置き 3 年とする。</p> <p>これまでの利用実績として 69 件 3 億 4 千万円となっているが、中小企業の業績が回復する前に元金返済が始まってしまい、現行の要綱では借り換えなどの柔軟な対応ができない。</p> <p>このため、融資要件の緩和、限度額の引き上げ、据え置き期間の拡大で中小企業の資金繰り支援を行いたいとの説明がされた。</p>					
【質疑】					
Q：コロナの影響前の同月比とはいつを指すのか。					
A：令和 3 年 4 月を基準とした場合、令和 2 年 4 月はコロナの影響があったため、平成 31 年 4 月となる。					
Q：何件ぐらいの利用を見込んでいるのか。					
A：「産・官・金」の意見交換もしているが、今後コロナ禍が長期化することで借り換えも出てくるのではないかと見込んでいる。					
Q：いつの改定になるのか。					
A：5 月 1 日付の改定を予定している。					
2) その他					
① 外国人技能実習生受入れの件					
<p>本年中国などから受け入れを予定していた技能実習生（25 戸 48 人）について、コロナ禍の影響で、国の上陸拒否により入国の見通しが立たないことから農家と監理団体が断念した。</p> <p>現在、人材派遣会社に 5 月～11 月で 16 戸から 176 人の希望があり、求人募集をかけているものの、6 月までに希望人数の確保は難しい状況であることや、人材確保に係る経費は国の農業労働力確保緊急支援事業を活用することなどが報告された。</p>					
②財産の取得について					
概要について報告を受けた。					

(建設水道部)

- 1) 工事請負契約の締結について
概要について報告を受けた。

以上で第6回経済建設常任委員会を終了した。

報告者 経済建設常任委員会 副委員長 佐久間 誠